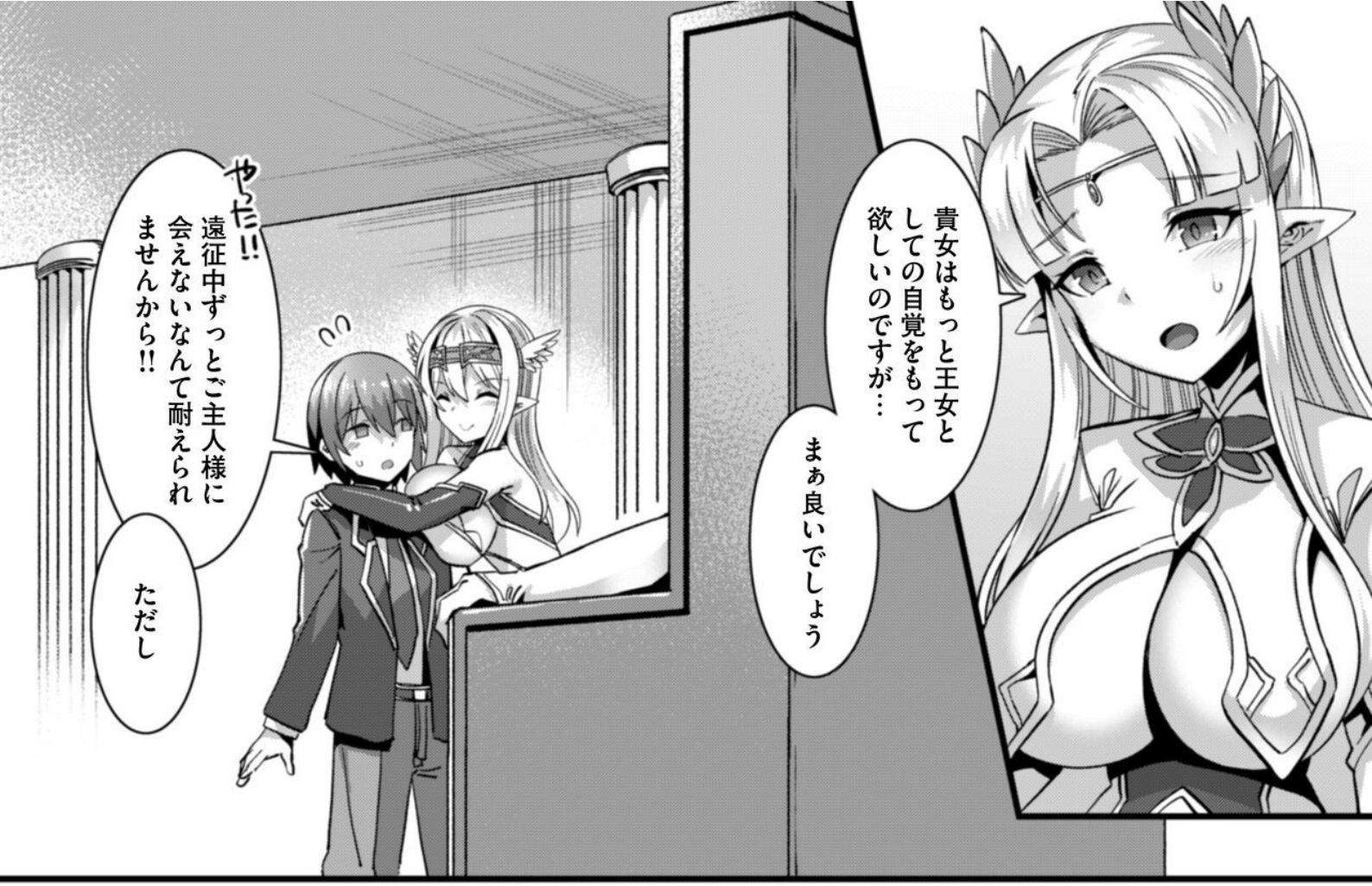
俺の精液を求めるケモミミ巫女姫をパーティで籠絡して子作りハーレムエッチ
～男が産まれない異世界へ召喚された俺がヒロインを充てがわれて子作りエッチ3～
漫画
針金紳士
R18
成人向け
FOR ADULT ONLY
18歳未満の購入・閲覧禁止
ぴぷれぼコミック

最初に懐妊が確認された二人に続き先日はリコッタと――
救世主様のご活躍で国内の子作りは順調に進んでおります
改めて考えると凄いことしてるな…
この度お呼びしたのは次に子を成して頂きたい相手についてなのですが…
それが実は…国外からの依頼でして…
国外!?
ええ…我が国と同じくかつて異世界召喚を行い…その血を今に残す同盟国――
その国の次期女王となる方〝巫女姫〟クロエ様との子作りをお願いしたく…
ヒノモト国――
ヒノモトって…それってもしかして…

もしかしたらこの世界と元の世界との繋がりが何かわかるかも…
はい
大丈夫です
まさか即答とは…!!
流石は救世主様
では早速護衛の手配を――
お待ちを!!
話は聞かせてもらいました!!
ご主人様の護衛は私にお任せを!!
リコッタさん
はぁ…
リコッタ…扉は静かに開けなさい
ヒノモト国であれば騎士団の用事で何度も行ってましたから
私がしっかり送り届けてみせますよ!

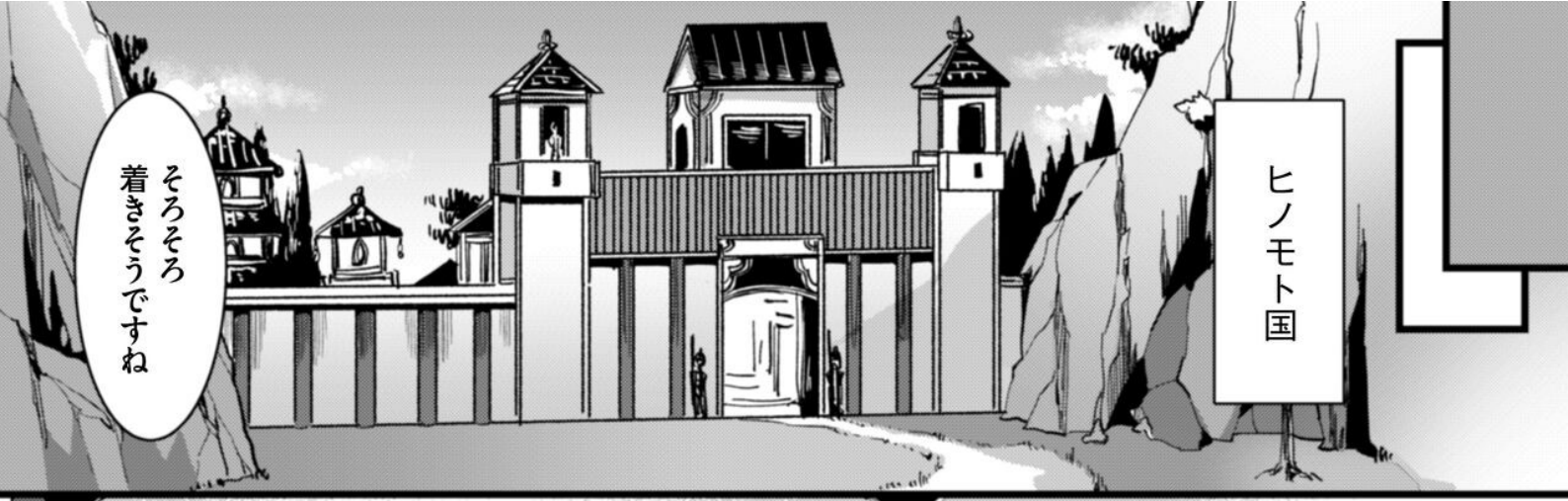

貴女はもっと王女としての自覚をもって欲しいのですが…
まぁ良いでしょう
やった!!
遠征中ずっとご主人様に会えないなんて耐えられませんから!!
ただし

救世主様もそれで良いでしょうか?
あ…はい!
皆が来てくれるなら僕も安心ですし

貴女は一人にするとあぶなっかしいので
うっ
世話役の二人も同行させることにしましょう

ガタゴト
ガタゴト

では馬車を用意させますね
お願いします


ヒノモト国
そろそろ着きそうですね

わあ…
王国とは全然違う雰囲気だね

ご主人様
到着後の予定を確認しておきましょうか
あ
そうだね

御主人様のお役目は明日からとなりますが
本日一度顔合わせをして頂くため
到着後は姫の居宮に向かうことになります
なるほど…その間皆は？

我々も途中まで同行しますが
謁見の間へはお一人で入って頂きます
そうなんだ
少し緊張するな…どういう人なんだろ

ご主人様なら大丈夫ですよ♥
はは…
まぁ何とか頑張るよ

クロエ様
救世主様がご到着されましたのでお連れしました
ご苦労
下がって良いぞ
フルフル…
遠路はるばる我が国まで足を運んで頂き感謝する
今代の救世主殿
我がこの国の巫女姫
クロエじゃ
巫女服…？に黒髪…
この人が前の異世界人の末裔…
ギロ
は…はじめまして
シャワ

む
そうかそうか!!
やはり神託は
そういう事
じゃったか!!
消え…っ!?
!?

救世主殿
お主ニホンから
来た人間じゃな!?
おやっ
い…今日本って…
というかコレ…猫耳!?
そ…
そうですけど…
どうして
それを…?
ドガッ

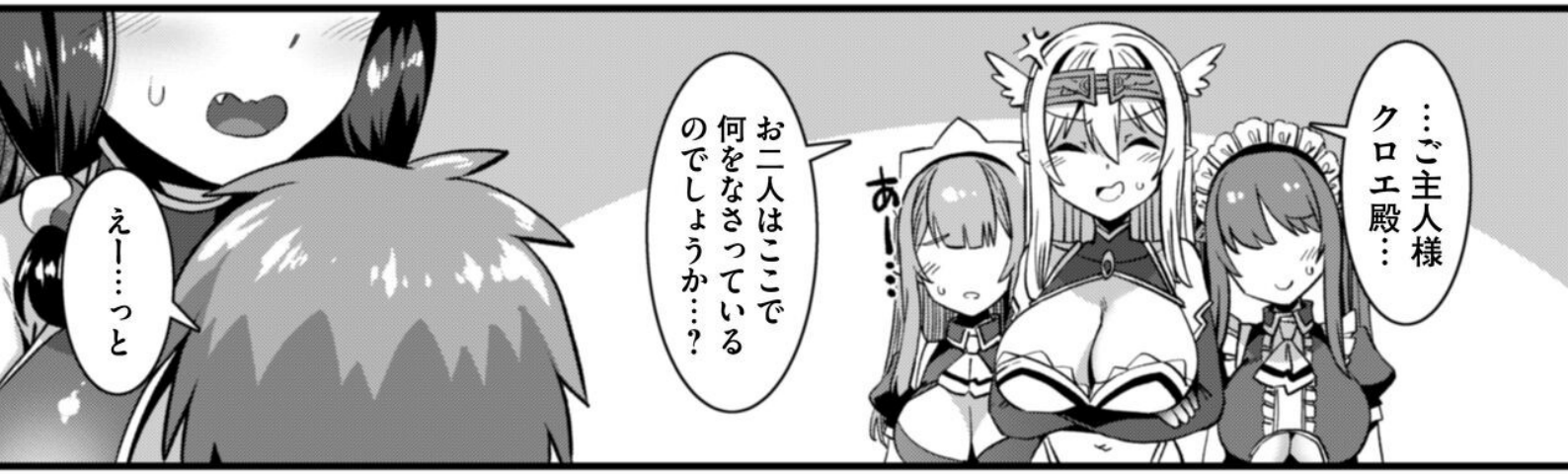
お主が来る数日前に神託があったんじゃ
近いうちに我の血と引き合う者が現れると
それがまさか此度の救世主殿とは…運命の導きに違いあるまいて
…そのせいかお主を見ていると身体が疼いてしまっての…
これは明日まで我慢出来そうに無い…♥
だ…だめですよ!?ちゃんと日程も決まってるんですから
隣の部屋に皆もいますし…気付かれますって
堅いことを言うでない
我も声は出さぬようにするから…ちょっとならいいじゃろ？
うう…

…ちょっとだけですからね？
おお!!
話がわかるな救世主殿♥
じゃあ…
!?
こいつっ!?
ちゅっ♡
ちゅるるっ♡
な…なんじゃこやつ…っ
見た目の割にめちゃくちゃ手慣れておるではないか…っ!?
我がリードするはずじゃったのに接吻だけでこんなに身体の力が抜けて蕩けるような…っ♥
あにゃっ!?

もがっ!?
何じゃ今のは…っ!?
急になんでそんなところ…っ
今まで触った事も無いのに
こんな…っ♥
声出さないって
言ったじゃない
ですか!!
じゃ…
じゃって…
どうしてこんなに
感じてしまうんじゃ…っ♥
こんな…こんなの
知らんぞ…っ♥
声が…漏れてしまう…っ♥

ご主人様達…
随分長く話し込まれているみたいですね…？
そわ
そわ
ヒノモト国には何か思う所もありそうだったからな…
顔合わせとはいえ色々話す事もお有りなのだろう
確かに…そうですね
その事なのですが…
先程から隣の部屋から妙な音が聴こえます…
くっ…この私がついていながら…!!
な…何!?
本当かミーシャ!!
聞き間違えかとも思ったのですが…
先程一際大きな音が
あっ…
リコッタ様多分この声は…
二人ともご無事です——
何かもみ合うような音と…
くぐもったお二人の声が…
なんだと…!?

か…っ!?
にゃっ♡
にゃうっ♡
…あ


…ご主人様
クロエ殿…
お二人はここで
何をなさっている
のでしょうか…?
えー…っと

今日は顔合わせ
だけの予定だった
筈ですが…?
その…
じゃな
明日以降に備えて
ちょっと身体の相性など
確かめようと…
…そうですか
そんなに我慢が
出来ないようでしたら…
リーシャ達も
手伝え
はいっ♡
な…
何するんじゃ!!

クロエ殿
私達もお手伝いしましょう
リコッタ…っやめんか…♥
だめですよ予定も守れないクロエ殿へのお仕置きでもあるんですから♥
さぁご主人様も

カチャカチャ
リーシャさん
ちょっと…っ
…まぁもう
仕方ないか…
予定とは
違うけど…
!?
ちょ…!?
我は初めて
じゃから…そのまま
ゆっくり…っ
いっ…♥
にゃあああ♥
はぁ♥
こ…こやつ奥まで
一気に…挿れおって…っ♥
あ…♥
じゃが…痛みが無い
ではないが…この感じは…♥
どうですか
クロエ殿
おちんぽに身体を
貫かれる感覚は…♥

な…なんじゃこれは…っ♥
腹の奥をゴリゴリと押し上げてきて…っ♥
苦しいはずじゃのに…っ突き上げられるたびに雷に打たれるような…っ♥
刺激と快感が溢れてきてっ…♥
ご主人様のおちんちんすごいですよねっ♥

お主ら…っ♥
ちっとは手加減
せんかっ…♥
それがわかって
おるならっ…♥
一日も我慢出来ない
程だったのでしょう?
存分に気持ちよく
なって下さい♥
じゃから…っ♥
それは…っ♥
ここまでする
つもりじゃ…っ♥

身体がビクビクって跳ねるたびに…っ
膣内がうねるみたいに締まって…♥
流石ですねクロエ殿
ご主人様も気持ち良さそうですよ♥
我の身体で救世主殿が悦んでくれているのは嬉しい事じゃが…
正直…今は何も考える余裕が…無い…っ♥
おや…返事をする余裕もなさそうですね…♥
二人とももっと激しくして差し上げろ♥
そ…そんなこれ以上されたら…♥
ま…っ待ってくれ…っ♥
だ…ダメじゃ…♥身体の奥から何かがこみ上げて…っ♥
もう…イク…っ
うう…っ♥こんな好き勝手にされる筈では…っ♥

だ…だめじゃっ♥
イッ…イクッ♥
にゃっ♥
あああああっ♥
溢れて…
出てしまう…っ♥

!?
あれ…!?
さっきまでの場所
じゃない…!?

ご主人様…♥
よかった
皆も居た…
って
どうしたの
その格好!?
…って
うわっ
僕もいつの間に
服が無くなってる…

あれ…？
どうしたの
皆…？

その…なんだ
…すまぬ救世主殿
クロエさん…？
先の絶頂が
想像以上じゃった
せいか…
どうやら魔法が
暴発してしまった
ようでの…
魔法…？

明日からの子作り期間で
使う予定じゃった隔離空間
なんじゃが…
一足先に
来てしまったようじゃ…
…皆のこの状態は？
気分を高めるために
催淫魔法をじゃな…
空間全体に…
何しようと
してるんですか!?

う…っ
言われてみると
確かに身体がちょっと
おかしいような…
ドンッ…ドンッ…
それは
大変…!!
ではご主人様
是非私の身体をお使い
くださいませ!!
あっ
リコッタ様
ずるい!!
むぅ…
も…元々は我と救世主殿
のための場じゃったのに…
元々と言うのであれば
今日の顔合わせの後は
明日からの子作り
期間に入る前の
はぁ
はぁ
クロエ殿はさっき
してもらったでしょう
うぐぐ…
それに
ご主人様にた～っぷり
お相手頂く予定だったの
ですから…私達が優先です♥

そうだね
リコッタさん
あっ♥
…さっきの魔法の
せいか僕も我慢
出来そうに無いし…
どうぞ…♥
もう準備は
出来てますから♥
ご…♥
ごひゅじんさまっ♥
いつもより…っ
おおき…っ♥

おっ♥
ご主人様っ♥
はげしっ…♥
いいなぁ
リコッタ様…
姉さん
羨んでいないで
私達の役目は
ご主人様にご奉仕する
事でしょう
…ですので
ミ…ミーシャ
さん…っ♥
ひゃっ…!?
後ろから
ご奉仕させて頂きますね
ご主人様…♥

ぬるぬるの舌がはいってきて…すご…っ♥
ミーシャさんこれ気持ちよすぎ…っ♥
中でもっと大きくなって…♥
リコッタさん…そんなに締めたら…もう…僕…っ♥
ごひゅじんしゃまっ…♥
わらしも…っイきまひゅ…っ♥

イッ♡イグッ♡
イギます♡
びゅーっ♡
びゅるるるっ♡
ビュッ♡
射精るっ♡

はふっ♡
は…あっ♥

ご主人様
おわっ!?
ミーシャさんっ？

まだまだお元気そうなご様子ですので…
次は私にもお情けを頂けないでしょうか…？
う…うんそうだね

むむぅ…
今日はなんか
ミーシャちゃんが
積極的…
あ…
リーシャさん
ちょっと待ってね
はーい…
ミーシャさん
ちょっといつもより
激しくしちゃうかも
だけど…
ビキビキ
はい…♥
ご主人様の望むままに
お使い下さいませ♥
じゃあ…
挿れるよ
ぺとっ
はは…
ありがとう
ぐぢゅ
うぐぐ…こやつら
我の前で見せつけるように
しおって…
しかし…魔法の効果が
あるからとこの精力…
これが救世主たる力なのか…？
うぅ…

ズプッ
ゆさっ
なん…っ!?
これ…っ♥
ぼフッ
だぷ♥
奥が…突き上げられてっ♥
じゅぽっ♥
じゅぽっ♥
ぱちゅ♥
ぱちゅっ♥
ぱちゅっ♥
ぱんっ♥
ミーシャさんっ♥
ごめんなさい…っ♥
でも…止められ無いです…っ
いえ…っ♥
私でこんなに…なって頂いて…っ♥
嬉しいです…っ♥
私も…っ♥
快感で…おかしくなってしまいそうで…っ♥
ぬちゃ♥

あっ♡
じゅぽっ
じゅぽっ
あっ♡
おわっ!?
リーシャさ…
んぷっ
ちゅっ♡
ちゅぷ♡
ろろ～…
ミーシャちゃん
気持ち良さそう…
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡
ぐぽっ♡
もう我慢
できません～!!
ご主人様ぁっ
姉さんっ…!!
もう…っ!!
柔らかい唇で口を
塞がれて…っ
息が…
じゅるる
じゅぽっ
舌が絡め取られて
リーシャさんの口の中で
舐め回されると…っ♡
ちゅぷ♡
気持ちいいので
頭がふわふわしてきて
我慢が出来なくなる…っ♡
ぬぷぬぷ

ご主人様のおちんちんがふくらんできて…っ♥
そろそろ射精なさりそうなのですね…♥
ご主人様っ♥
お好きな時に私の膣奥にお出し下さいませっ♥
ぜぁ
ぜぁ
んっ♡
んっ♡
ジュプッ
ジュプッ
ちゅっ
ぢゅるっ
あぁ♡
ビクッ
ご主人様の熱い精液が一番奥に当たって…っ♥
ビュクッ
ビュクッ

だきっ
さぁっ♥
ご主人様っ♥
わ…とと
今度こそ私の番ですよっ♥
ズププ…♥
リーシャさん…っ!!
ズププッ♥
あ…っ♥
せぇ〜の〜っ♥

もう…姉さんったら…
お主の姉も大概じゃが…
それはそれとして救世主殿の精力はいったいどうなっておるんじゃ…？
もう4回目じゃぞ…
魔法の効果もあるとは思いますが…日頃のお役目のせいか最近は連続でされる事も普段の光景になっていますね…
なんと…

もう…どんだけ待ちきれなかったんですか…っ
だ…だってぇ♥
もうおかしくなっちゃいそうで…っ♥今でも…っ♥
おちんちんで突き上げられるたびに…っ♥いつもより感じ過ぎちゃって…っ♥
では姉さん
!?
こんな状態でずっと焦らされたからぁ…♥
…我は救世主殿をすっかり見誤っておったようだな…
こんなに立て続けにする精力もそうじゃが…こやつらの蕩けた顔ときたら…
こんなものを見せられて…雌としての本能に抗えるはずが無い…♥

途中で割り込む程に快楽に飢えてらしたようなので
私もお手伝いしますよ
あ…あれミーシャちゃん？
…どうしたの？
ぴゃっ!?
私もいつもされてばかりだからな
たまには仕返しさせてもらうぞ♥
リコッタ様まで…!?
もっといっぱいしてたいのにっ♥
もうダメ…っ♥
そんなにっ♥されたらぁっ♥
イッちゃいますぅっ♥

イクッ♡
イきます!!♡
びゅくっ♡
びゅるるっ♡
ぢゅっ♡
ぢゅうう♡
じゅぽっ♡
ぢゅぽっ♡

ご主人様今度はまた私に…
順番的には私だろう!?
ちょ…まって…
お主ら我を忘れておらんか!?
散々目の前で見せつけおって…!!
順番通りというなら我の番じゃろうが!!
クロエ殿は明日以降いくらでもお相手して貰えるのですから良いでしょう
だ…だからといってこんな…っ!!
…まぁ
流石に今日ずっと放置っていうのも申し訳ないし…
いっそ予定を前倒ししても…
おおっ!!
流石救世主殿!!是非そうしよう!!
ご主人様がそう仰るなら…

それじゃあクロエさん
改めて…お相手して貰ってもいいですか？
う…うむ!!
…じゃが
その…救世主殿はそんなに連続でしても大丈夫なのか…？
…多分？
魔法のせいかまだ全然元気だし
た…確かにこれは…
すんっ
すんっ
こ…これは凄いのう…♥
咽返るような性の匂いが…♥
これでは前戯も要らぬかも知れんが…
我に清めさせてくれ…♥
ぺろっ
ぺろっ
うあ…っ♥
舌がざらざらで刺激が…すご…っ♥
ぺろっ
ぺろっ
ずっ
うあっ
にちゃ
ぼっ
ぼっ
あっ
口の中も…すごく熱くて…っ♥
ぎゅぽ
ぎゅぽ

ク…クロエさん…っ
も…もう大丈夫…っというか…これ以上されると…射精ちゃいそうだから…っ♥
救世主殿のちんぽの匂いが頭に充満してきて…喉奥に当たる刺激すらも脳が気持ちよく感じてしまう…っ♥
そ…そうかっ♥すまぬの…つい…夢中になりすぎてしまった…♥
いえ気持ちよくしてもらった分今度は僕が頑張る番です

ごめんなさい…
ぎし…
大事な儀式なのに
成り行きな感じに
なっちゃって…
いや…そもそもは
我のせいじゃしの…
それに…これで
良かったんじゃ
おかげで予定通りの…
王家の義務としての
子作りではないと思えた
？
ぐぐ
ぽぬ…
はぁ♡
はぁ…♡
今日だけは
ヒノモト国の姫と
してではなく
ただのクロエとして
の頼みじゃ…♥
どうか救世主殿の
子種を注いで
我を孕ませて
くれ…♥
クロエさん…

わかりました
では…
挿れますね
ぴと…♥
ヒクッ
ぐぢゅ♥
う…うむ♥
あっ
めり…
おっ♥
めり…♥
さっきよりすんなりと…
ヒダをかきわけて
ちんぽが奥まで…っ♥
ずぶぶ
ヒクン
挿入ったものの形が
くっきりと理解る程の
衝撃…っ♥
おほおおおおっ♥

先程の行為の際でもこれ以上の快感は無いと思っておったが…っ♥
救世主殿…っ♥
少し…っゆっくりっ
何故じゃ…っ今感じてるこれは…先程の比では無い…っ♥♥
ずっと焦らされていたせいか…？それとも…心の在り様のせいなのか…？
ごめんなさいっ…できるだけゆっくり…
動いてるん…ですけど…っ
ふふクロエ殿も素直に快感を受け入れ始めたようだな
ですねぇ
リコッタ様の最初の頃を思い出しますね♥
…うぐぐ

救世主殿っ♥
ごめんなさい…
でも…っ
奥あたるたびに
きつく締まって…っ
この体勢…っ
深い所まで…っ♥
届きすぎて…っ
ダメになって
しまう…っ♥♥
これ…っ
止まらない…っ♥
クロエさんっ
僕…っ
もう…っ
!!
い…今膣奥に射精されたら…っ♡
どうなってしまうんじゃ…っ♡♡
ちょ…っ
今は
ダメじゃ…っ

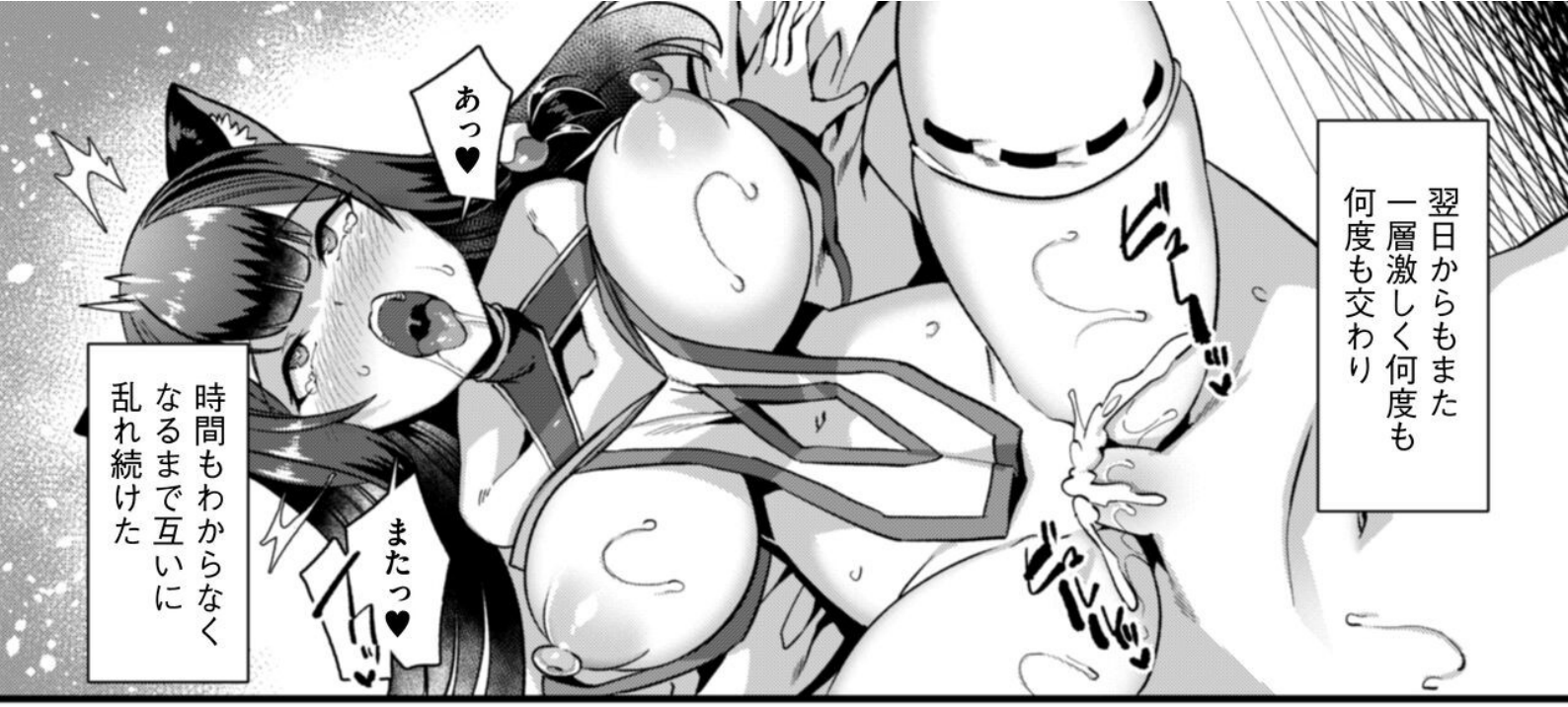
射精るっ♥
大きいのが…っ
くるっ…っ♥
にゃあああああっ♥
ぷしゃ
ぷしゃ
ぷしゃ
こ…これが救世主殿との
本気交尾…っ♥
こんなものを味わってしまっては…♥
ぽ〜…
はぁ♥
ぽ〜っ♥
ご主人様!!
次は私ですよね♥
姉さんはさっき
したばかりじゃ
ないですか!!
そうだぞ!!
順番通りなら
私が…!!
お…お主ら!!
こやつらのようになる
のも解る…が
救世主殿は
予定を前倒しと
言ったであろう!!
今はもう我との
子作り期間の
はずじゃ!!
ええ――!?

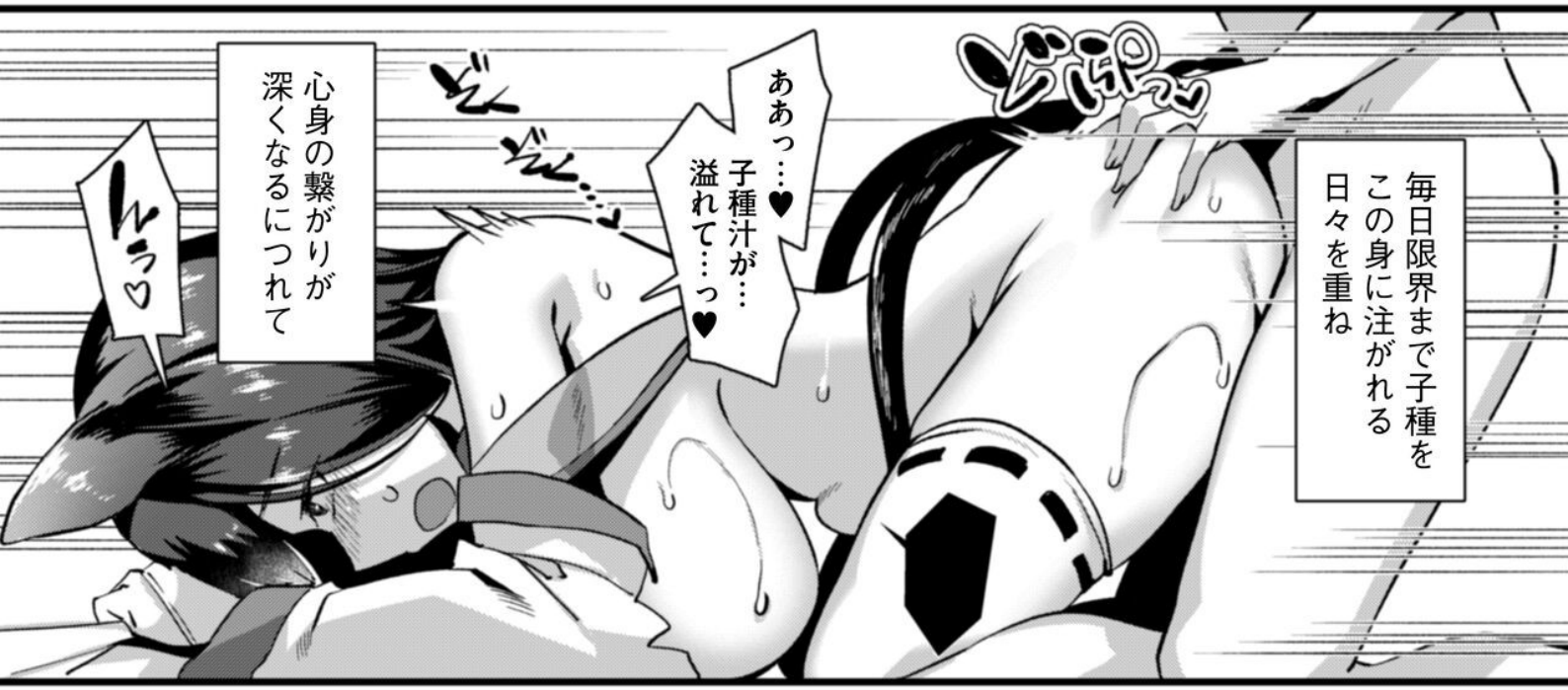
どうされますか
するんじゃ!?
ご主人様
救世主殿!!
ぷるん♡
むにゅっ♡
ぷにっ♡
ぷるんっ♡
え…
えーっと…
たじ…っ
まだ全然できるとは
思うから…
仲良く順番に…
ね？
はぁい♥
おっ♡
おっ♡
や…っ♥
ちょ…
だめ…っ♥
にゃあああ
あぁ～っ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ

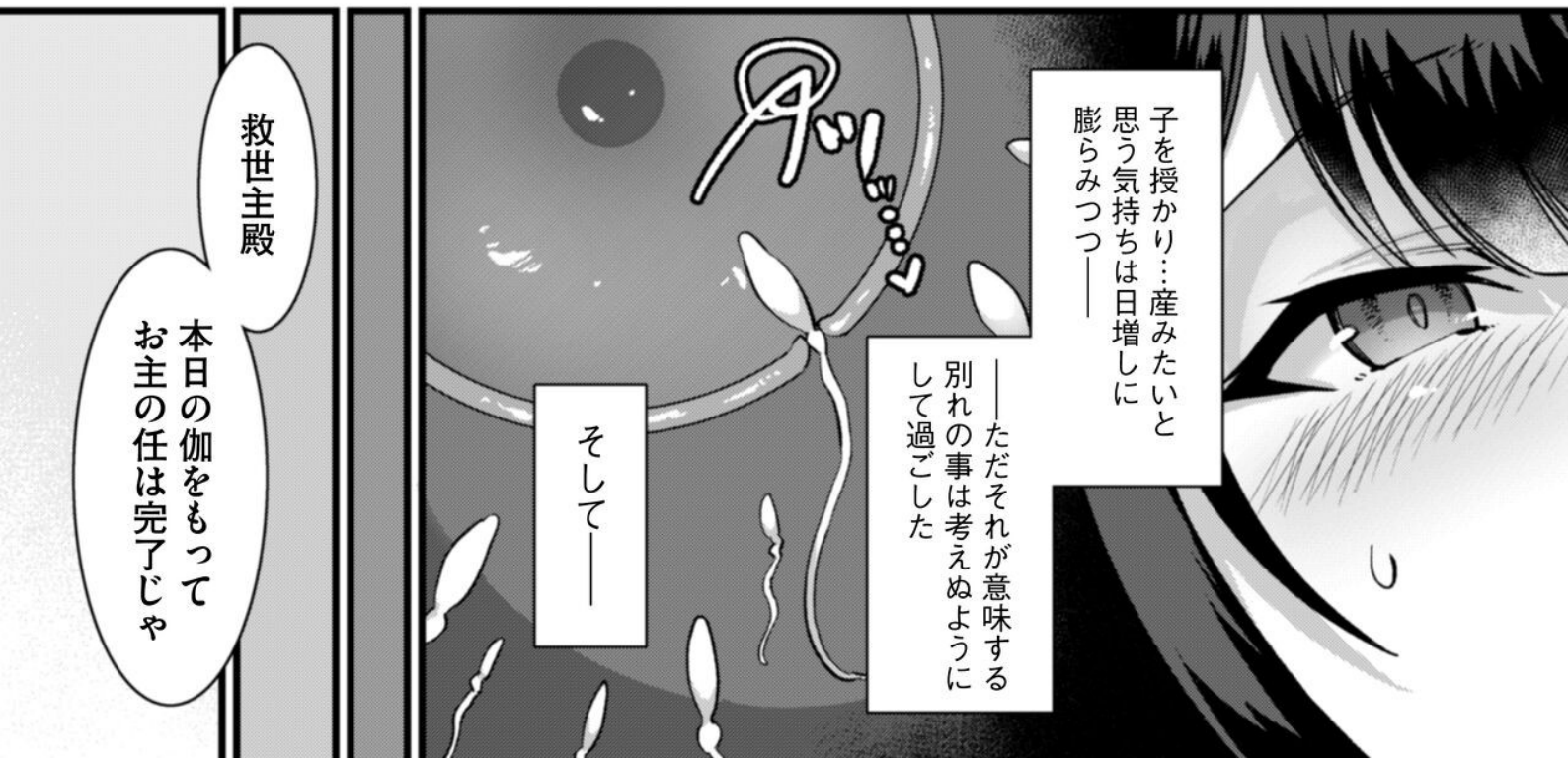
あっ♡
きもちいっ
ぱんっ♡
ぱんっ♡
はぁ
はぁ
ぱんっ♡
ぐちゅっ♡
ぺちゃっ♡
ぐちゅっ♡
ぐぼっ
良いんですか!?
お…おう
スゴい食いつきじゃの…
これは明日以降もお主らには居てもらった方が良いかも知れんな…
んっ!?
ぐぼっ
ぐぼっ
あっ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ぴゅっ♡
やーん♥
ありがとうございますクロエ様♥
そうと決まれば全力でサポートいたしますよ~!!
お…おい待て!!
確かに…これを一人で相手にしていたらと思うとな…
…これは
ニャ~ん…

ご主人様♥
？
次は是非クロエ様にっ♥
や…やめんかこのポンコツメイドめっ!!
クロエ様にも早く
ご主人様の赤ちゃんを授かる幸せを知って欲しいですからっ♥
それに…ほらクロエ様もまたこんなになってるじゃないですか♥
ぐちゅっ…♡
ぐちゅぐちゅ♡
うう…っ
…しかし確かにどう繕おうとこの快楽には抗えぬ…っ♡
ならばこやつらと同じように…
にゅっ♡
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ♡
ぱんっ♡
あっ♡
目一杯楽しまないと損かも知れぬな…♥
きゅうう
きゅんん
クロエさん…僕また…っ
我も…もう…っ♥イキそう…じゃから…っ♥
ぱんっ

我の胎を…子種で満たしてくれっ…♥
にゃあぁぁんっ♥
あにゃっ♥
ビクビクン
ピン
ぐりぐりっ♥
ぐりゅりゅっ♥
どぷっ♥
どぷぷぷ
もう…っ♥
入らな…っ♥
んあぁっ♥
ぐぷぷ
ぐぷぷ
ビニッ♥
ズムズム…♥
……目茶苦茶なスタートとなった一日が終わり――


翌日からもまた
一層激しく何度も
何度も交わり
あっ♥
またっ♥
時間もわからなく
なるまで互いに
乱れ続けた


毎日限界まで子種を
この身に注がれる
日々を重ね
ああっ…♥
子種汁が…
溢れて…っ♥
心身の繋がりが
深くなるにつれて


子を授かり…産みたいと
思う気持ちは日増しに
膨らみつつ――
――ただそれが意味する
別れの事は考えぬように
して過ごした
そして――
救世主殿
本日の伽をもって
お主の任は完了じゃ

ヒノモト族の女は
自分で解るんじゃよ
我が身に子を
宿した感覚が
すごいですね…
へえ…!?
おめでたい事ですけど
…少し寂しいですね
役目の事ばかりで…
クロエさんとかこの国の事
もっと知りたかったんですけど…
救世主殿
何を言うておるかっ
わっ
ちゅっ♡
…そう言ってくれる
気持ちは嬉しいがの
お主はこの世界を
救うために来たのじゃから…
あまり我にお主を独り占めさせたくするでない

翌日――

それじゃあクロエさん
お元気で
うむお主もな…救世主殿此度の件改めて感謝する
お主の子必ず立派に育て上げるからの

ガタッ
ガタッ
お役目お疲れ様でしたご主人様
ヒノモト国はいかがでしたか？

ガラガラッ
またいつか会おうぞ!!

うん楽しかったし来てよかったよ
…まぁホントは前の異世界人の事をもう少し知りたかったっていうのはあるんだけどヒノモト国でもあんまり記録は残ってないみたいだったからこれは仕方ないね
確かに…
クロエ様でも知らないって事はヒノモト王家でも知らないって事ですもんね

救世主殿
別れの前にこれを渡しておく
これは？
お守り？
うむ
我の魔力を込めたものじゃ
我を召喚出来る魔道具と思ってくれればよい

あれ
クロエ様といえば…
なんだか今日は随分とアッサリとしたお別れでしたね？
確かに
私が帰る時すらいつもゴネるのに…

出発の前夜——
あ
それは多分…

ごめん
…やっぱり何でもない
えー!!
気になるじゃないですか!!
ガラ
ゴロ
結局城に着いてすぐ再会する事になった上に当然のようにすぐ皆にもバレる事になるけど…
それはまた別の話——

大事になってはマズいからの
この事はリコッタ達には内緒じゃぞ♥
…わかりました
こしょ
しー